

# 越冬闘争の活動内容と日程の紹介

## ☆布団敷きと警備（集団野営）☆

### 12/28～1/4 朝5時まで 社会医療センター軒下

野宿をせざるを得ない人たちの大きな心配の一つに、通行人からの嫌がらせや、若者からの襲撃の恐怖があります。遊び半分で道頓堀川に投げ込まれて溺死させられた藤本さん。天王寺で殺害された小林さん。そして梅田での富松さん殺害など被害・犠牲は後を絶ちません。今年も新シェルター、三徳ケアセンター等地域内を中心としての越年対策となりますが、社会医療センターの軒下での集団野営は続きます。夜7時半頃から布団を敷き始め、翌朝5時まで夜を徹して番をします。一部のメンバーはそのままセンター情宣「日刊越冬」の配布に参加します。

正月を迎えると支援者の数が落ち込み人員不足になりますが、「一人の餓死・凍死者も出さない」越冬闘争の基本となる活動なのでご協力をお願いします。

## ☆炊き出し☆ 担当反失連

### 12/28～1/3 夜6時配食 場所三角公園

日替わりメニューで毎日温かい食事を提供します。  
2日の朝にはもちつき大会も行います。

## ☆人民パトロール☆

### 12/30～1/3 夜8時から夜10時

労働者、地域住民、市民、宗教者、学生など越冬闘争に参加する様々な人たちが集まって行なうパトロールです。日ごとに地区内、難波、梅田、天王寺、日本橋を回ります。地区内外で野宿を強いられている仲間、釜ヶ崎で越冬闘争が行なわれていることを呼びかけます。「炊き出し」「集団野営」「医療・労働相談活動」「越冬まつり」などの情報とともに、カイロなどの支援物資を渡していきます。また街を歩く人達に越冬闘争への理解と協力を求める活動でもあります。その日の越冬まつり終了時に参加者を募り三角公園から出発します。

## ☆臨時宿泊所 受付相談と監視行動☆

### 12月29日(木)午前中 大阪市保健福祉センター分館(旧・市更相)前

シェルターが閉鎖されている12/29～1/3までの期間、新シェルター、三徳ケアセンターに臨時宿泊所が設置されます。保健福祉センター分館が受付窓口になりますが、ここで不当な申し込み拒否等がないように見守り、労働者・高齢者の相談、アンケートも行います。

## ☆医療パトロール☆ 担当 わてらと釜ヶ崎

12/28日～1/3 夜9時45分～夜11時30分 医療センター前集合

地区内外で野宿を強いられている仲間に支援物資を提供しながら健康状態を確認する活動を行います。緊急の場合には医療センター前の集団野営と連携を取りながら医療機関への引き継ぎも行います。

## ☆資材管理☆ 協力 釜ヶ崎支援機構

12月～1月初旬

毛布や布団の準備、三角公園で使う焚き火や炊き出し用の薪などを調達・管理します。12月18日(日)、23日(金)、25日(日)には三角公園の舞台や炊き出し小屋の設営を行います。越冬終了後の舞台や小屋の解体まで続く、越冬闘争を下支えするとても重要な活動です。

## ☆越冬まつり☆ 担当 実行委員会

12月30日～1月3日 三角公園

舞台では演歌、フォーク、ロック、ブルース、ボサノバ、ラップ、民謡、エイサーまで、越冬闘争の主旨に賛同するミュージシャンの方々の演奏が繰り広げられます。31日の夕方にはのど自慢大会も開催されます。公園広場では卓球大会(1/1)、もちつき(1/2)、ソフトボール大会(1/3)が行なわれます。まつり期間中を通じて釜ヶ崎で活動をしている仲間からの呼びかけやアピール活動も行なわれます。

## ☆お礼まいり☆

1月4日(月) 朝7時～ センター集合

行政が仕事始めの5日、大阪市・大阪府に要求書を提出します。三角公園で参加者全員で朝食をすませた後、大型バス(勝利号)で出発します。